

令和5年度学校評議員学校評価アンケート(学校関係者評価書)

北海道芦別高等学校

※評価方法: 4・・・そう思う/大変良い 3・・・ほぼそう思う/良い 2・・・あまりそう思わない/やや悪い 1・・・そう思わない/悪い

学校教育目標	
○	未来に生きる知性を創造する生徒
○	世界に生きる徳性を涵養する生徒
○	風雪に生きる心身を練成する生徒

領域	対象	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	平均	評語	備考
教育活動	学習指導	①対話的で主体的な学びなど、学習指導要領の改訂を踏まえた指導内容や指導方法の実践	①対話的で、主体的な学びとなる授業(指導方法)を実践できたか。	3.40	A	
		②学習の成果や過程の適切な評価の実践	②評価規準に基づき、適切な観点別評価が実践できたか。	3.20	B	
		③新学習指導要領に応じた指導方法、評価方法等の教科内研修、校内研修の充実	③各教科において、新学習指導要領の研修や、授業公開、研修会の参加報告などの研修会を実施したか。	3.20	B	
	キャリア指導	①ガイダンスとカウンセリングの充実による進路目標の確立	①生徒に進路希望や目標をもたせ、その実現に向けて取り組ませることができたか。	3.00	B	
		②進路実現に向けた積極的な支援(講習、模試、自習の支援等)	②進路目標に基づき、講習、模試、自習等に取り組む生徒が増えたか。	3.00	B	
		③早期離職対策につながる職業観や勤労観の醸成、及び早期離職卒業生への支援	③早期離職の視点に立った職業観や勤労観の醸成、指定事業を活用した早期離職者に対する支援を行うことができたか。	2.80	B	
	生徒指導	①チャンス、タイミングを逃さない指導の徹底	①チャンス、タイミングを逃すことなく、全教職員で必要な指導が行われたか。	2.80	B	
		②「成年・大人」を意識させた指導による社会の即戦力として活躍できる人材の育成	②生徒たちが、間もなく「成年・大人」となることを意識し、必要な行動をとることができるようになったか。	2.80	B	
		③命の大切さや多様性を尊重する態度の育成、「いじめは絶対に許されない」という意識の醸成	③いじめ調査において、「いじめは絶対に許されない」との回答が100%となっているか。	3.40	A	
		④ボランティア活動等積極的な地域の活動への参加の推奨	④ボランティア活動や地域の活動への参加生徒が増えたか。	3.80	A	
	健康・安全指導	①感染症の予防をはじめ、自他の健康を保持増進する態度の育成	①自分及び集団の感染症予防に係る正しい知識を身につけ、実践することができたか。	3.20	B	
		②校舎内外の清掃活動や環境整備の積極的な取組による学校生活・学習環境の美化と地域の環境保全に係る意識の高揚	②教室等の校舎、及び通学路等の美化に努める態度が育成されたか。	3.20	B	
③校外の講師等を積極的に活用した薬物乱用防止やネットトラブル防止、交通安全等の指導		③ 外部講師を積極的に活用し、各指導の改善充実が図られたか。	3.00	B		
学校運営	組織運営	①各教育活動の目的、目標、指導の方向性の明確化	①目指す生徒像に基づき、各教育活動の目標、目的、指導の方向性を明確に示したか。	3.30	A	
		②各種委員会の機能化	②各種委員会を機能的に動かし、学校全体で組織的に課題解決を図ることができたか。	3.10	B	
		③ミドルリーダーを中心とした組織的な業務の遂行	③部長主任等のミドルリーダーを中心に、組織的に業務を推進できたか。	3.30	A	
	信頼される学校づくり	①地域の小中学校等の関係機関との連携を一層図り、地域一帯となった教育活動を推進	①小中学校等の関係機関との連携は進んだか。	3.30	A	
		②本校の取組の積極的な情報発信	②タイムリーなホームページの更新や、学校だよりの改善充実がされたか。	3.40	A	
		③教育公務員としての服務規律の遵守	③服務規律を遵守する行動がとられたか。	3.30	A	
教職員の資質向上	①担当の授業や業務におけるプラスワンの実践	①業務の改善充実に向けて、プラスアルファの取組が実践されたか。	3.30	A		
	②業務の効率化を図り、在校時間の縮減とともに、自己の心身の健康の保持増進及び、ワークバランスへの配慮	②自己の勤務時間を意識するとともに、時間外勤務の縮減に取り組んだか。	3.30	A		
ご意見・ご質問	<p>・中学生は高校卒業後の進路にも大変関心を持っています。芦別高校には大学等からの推薦枠が結構あるがあまり知られておらず、有効に利用されていないとも聞きます。そのような将来の選択肢が増える情報は積極的にアピールした方が良いと思います。</p> <p>・今後とも貴校の魅力づくりに向けた取組に市教委として支援させていただければと考えていますので、引き続き、連携・協力をお願いいたします。</p> <p>・過日ご案内いただいた授業参観にお伺いし、短時間ではありましたが複数の授業を拝見させていただきました。穏やかな和気あいあいとした雰囲気の中で、生徒に問いかけながら興味を持てる事例を通して解りやすい講義内容でした。講義の合間に、個別の生徒の発言が脱線しかけた内容に対しても、その生徒を否定することなく、一度受け入れ、本来の授業内容にうまく修正されていました。教師と生徒間の暖かい人間関係を垣間見た気がします。生徒の自己肯定感を高め、成功体験を積ませるのとおは理屈ではわかっていても、日々の教育実践の中では難しいですね。</p>					

※評価平均は、評価項目ごとの平均値を算出。評語は、評価平均について、A:3.25以上、B:2.50~3.24、C:1.75~2.49、D:1.74以下(小数第3位四捨五入)